

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2019 No.523

7/1

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル31階
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



第80回 公益社団法人 日本診療放射線技師会定時総会 開催される

2019年6月1日(土)午前11時より、日経ホールにおいて第80回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会が開催された。

佐野副会長による開会の辞に始まり、中澤会長があいさつの中で3つの話をされた。1つ目は、医療放射線安全管理の推進ならびに医療放射線安全管理責任者の設置の推進を行い、講習会を開催する方針であること。2つ目は、診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討会で、95単位から102単位への増加、および見学型から参加型臨床実習への変更を目指し、秋ごろに取りまとめられるように努力すること。3つ目は、技師法の抜本的な改正の推進について、職域を明確化し、業務拡大を行うことを目指す内容であった。

定時総会の開催に先立ち、2018年度の物故者43人に黙とうがさげられた。初めに表彰から行われ、表彰委員会 山本委員長より、功労表彰は15人、永年勤続表彰50年表彰は49人、30年表彰は336人であることが報告された。功労表彰受賞者は人命救助を行った小澤徹也さま、感謝状受賞者は山口県診療放射線技師会会長 三輪光良さま、職員の永年勤続10年表彰者は木村由美さま、岩瀬美智子さまであり、中澤会長により授与式が執り行われた。また2018年度学術奨励賞受賞者の方々が地域ごとに紹介された。



続いて総会運営委員会 柿本委員長より、本総会には出席代議員180人、委任状提出8人、議決権4人、合計192人により成立したことが告げられた。議長は、山田正雄氏(鳥根県)、水野吉将氏(奈良県)が選任された。

報告事項は、2018年度事業報告、2018年度決算報告および2018年度監査報告であった。2018年度事業報告の総括は中澤会長より、庶務報告は江田理事より説明があり、2018年度決算報告は小田理事より説明があった。2018年度監査報告では、独立監査人による監査報告が大光監査法人よりあり、公正妥当と認められると報告された。本会の監査報告では、新開監事より法令および定款に従っている旨が報告された。主な内容として、事業報告では各地で発生した災害について、災害対策委員会を中心に被害状況の調査と支援活動を行ったこ



功労表彰受賞
小澤徹也さま
(千葉県代議員 瀧口 裕氏代理受領)



感謝状受賞
三輪光良さま



永年勤続10年表彰
木村由美さま



議長の山田正雄氏(鳥根県)
と水野吉将氏(奈良県)



総会運営委員会
柿本委員長

とが報告され、中澤会長より義援金のご協力に対する感謝の意が述べられた。また決算報告では、経費削減の目標値5%を大幅に上回る12.5%の削減となったことが報告された。

議案は、第1号議案から第4号議案であり、第1号議案2019年度事業計画（案）について中澤会長より説明があり、事業計画案の柱は全11項目とする案が告げられた。また事業計画については江田理事より説明があり、特に、医療安全の推進事業として、医療放射線安全管理責任者養成講習会の準備を行うことが述べられた。また第2号議案 2019年度予算（案）については小田理事より説明があった。第1号議案および第2号議案は賛成多数で可決された。なお、2019年度スローガンは「国民と共にチーム医療を推進しよう」が承認された。第3号議案 診療放射線技師法改正（案）は中澤会長より趣旨が説明され、第三次答申書の通り提案があり、賛成多数で可決された。第4号議案 会費等納入規程改正（案）は、熊代副会長より会費納入期間の明確化や大学院進学者の免除

等の改正案について説明があり、賛成多数で可決された。

最後に、閉会の辞を熊代副会長が述べ、本総会は無事に終了した。本総会の詳細な内容は、本会会誌に掲載予定の総会議事録（抄）を参照されたい。



全国地域連絡協議会（全国会長会議）開催される

2019年6月2日（日）午後1時30分より、本会事務所講義室で本年度第1回の全国地域連絡協議会（全国会長会議）が開催された。本会議には、各都道府県（診療）放射線技師会会長（もしくは代理）の出席があった。

会議に先立ち、中澤会長より3つのお話があった。1つ目は、構成員の3%が同じ志を持てば組織をまとめられること。2つ目は、JARTと各都道府県（診療）放射線技師会は運命共同体であり、目標を一つにすれば実現できること。3つ目は、第80回定時総会において診療放射線技師法改正案が承認され、法律改正には政治の力も必要であることであった。

本会議では「医療放射線安全管理責任者について」「医療被ばく低減施設認定事業への協力について」「診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討会報告」「業務拡大に伴う統一講習会受講率等について」「都道府県における養成校設立の動きについて」「医療機器の保守点検指針の作成等に関する研究事業について」「災害支援認定診療放射線技師制度・分科会等について」「さらなるタスク・シフティングに向けた提案」「業務執行理事出張規程について」の9項目について話



し合われた。

「医療放射線安全管理責任者について」では、中澤会長より本件の講習会を実施する予定であることが報告された。「災害支援認定診療放射線技師制度・分科会等について」では、江藤理事（大分県会長）より、本認定制度のための分科会が設立され、本件の講習会を年度内に開催する予定であることが報告された。また「さらなるタスク・シフティングに向けた提案」については、江田理事より、厚生労働省のヒアリングを控えていることから、各都道府県においても意見を提出してほしいとのことであった。さらに放射線機器管理士分科会 中村分科会長（福岡県会長）より、「放射線関連機器故障・事故調査」について、年々協力施設が減っている状況であることから協力要請があった。

最後に、各県会長から要望・意見などがあり、活発に意見交換がなされ、会議は閉会した。



2019年度 地区責任者(47都道府県会長) ワークショップ報告

2019年6月1日(土)の定時総会後から2日間にわたり、本会事務局で47都道府県地区責任者ワークショップが開催された。より良いJART事業を実践するためグループ討議を行い意思の疎通を図り、さまざまな課題に対する方策を検討する目的で行われた。ワークショップは中澤会長の開会あい

さつから始まり、グループごとに討議を進め、KJ法により問題点を抽出し、2次元展開法での検討内容について発表・意見交換を行った。今回は3つのテーマについて、6班に分かれて活発な議論を行った。以下に概要を報告する。

● A班・B班 「医療放射線安全管理責任者育成の方策」

医療法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴い、診療用放射線に係る安全管理体制に関する規定が2020年4月1日施行される。この規定において、医療放射線安全管理責任者は原則として医師・歯科医師としているが、条件付きで診療放射線技師が認められた。当班では、診療放射線技師が安全管理責任者となるための育成方法について検討し、その結果(概要)を以下のようにまとめた。

本会としては、医療施設の安全管理体制において診療放射線技師が医療放射線安全管理責任者として活躍することを推進するため、来年4月施行までに各施設の診療放射線技師(代表者)が医療放射線安全管理責任者としてのスキルを身に付ける研修会を実施する。それに向けて本会は、育成指針や研修シラバスを早急に策定する必要がある。また診療放射線技師が医療放射線安全管理責任者に適することを所属施設に認

識されることが重要であり、そのためには研修の修了証が厚生労働省の承認であること、本会会長が修了者の所属施設長へ通知を行うことが望まれる。また来年度以降の研修継続も必要であり、そのための予算化やe-ラーニング化の整備などを期待する。

一方、全国の地区技師会としては、本会と連携して医療放射線安全管理責任者に関する会員への周知活動、研修継続への協力、地方行政(保健所など)への働き掛け、小規模施設(診療放射線技師不在)への広報、既存の各種認定の活用・連携など、積極的に行う必要がある。

今後は、放射線安全管理を担う診療放射線技師の育成と同時に、医療施設の放射線安全管理は、診療放射線技師が行うという啓発活動を国民に対して長期的な視点で展開していくことも重要である。

(報告者:江藤芳浩)



● C班・D班 「診療放射線技師プラクティショナー制度の検討」

「チーム医療の推進」や「医師の働き方改革」などが議論される中、診療放射線技師の業務拡大をはじめ、他の医療専門職へのタスクシフト(業務の移管)などが検討されている。看護師においては、特定行為制度が始まり、さらにナース・プラクティショナー制度などが検討されている。今回は診療放射線技師プラクティショナー制度について検討し、その概要を以下のようにまとめた。

診療放射線技師プラクティショナー制度を構築するための方策として、専門資格とした上級技師制度の創設が必要であり、そのためタスクシフトによる特定医行為制度や、それを

実施するための臨床を踏まえた教育、およびそれらを鑑みた大学院への進学など、教育制度の充実が重要と考える。

そしてタスクシフトなど医師の協力が必要不可欠であるため、医師と技師との共通認識を深め、他職種との連携・協力が重要になると考える。またこの制度の承認や行政の協力も必要なことから、本会として法整備に関しても同時に進めていくことが求められる。

(報告者:吉井 章)



● E班・F班 「会費未納者に対する取り組みの方策」

本会の運営は、主に会員からの受取会費(年会費)で賄われており、その経常収益における比率は、75%以上(2018年度決算)にも上る。しかしながら、9月末の納入期限まで

に「会費納入が完了しない」会員は、4千人を超えており(2018年度実績)、未納者に対する再請求業務が大きな負担となっている。特に、請求書による会費再請求には、人的なリソースもさることながら、請求ごとに収納代行会社への支

払手数料が発生する*ため、予算執行への影響も大きい。本会として、会費未納者への対策をどのように軌道に乗せるかは喫緊の課題といえる。E・F班では、未納者への支払いアプローチについて積極的な議論が行われ、以下のような提案がまとめられた。

※同一会員への同一事項請求であっても、「請求書作成ごと」に収納代行会社への手数料が発生する。

①支払い方法と納入タイミングの多様化として、クレジット・カード払いや任意のタイミングで振込用紙を印刷できる仕組みなどの「納入タイミングの多様化」により、会費支払い処理に対する負担を軽減する。②会費の用途に対する理解を深めてもらう取り組みの強化や、本会の正会員というブランディングを強化することで、会費支払いに対する意識を高め、結果的に負担感を低くする。③9月末が会費納入



を深めてもらう取り組みの強化や、本会の正会員というブランディングを強化することで、会費支払いに対する意識を高め、結果的に負担感を低くする。③9月末が会費納入

期限であることの周知、会費未納による「除籍」で、本人が被るデメリットなど、会費にまつわるルールや話題を広く共有する。特に、会費未納による除籍の場合、再入会時に未納分の支払いが必要となることや、非会員になった場合のデメリットを正しく伝えることが重要との意見が多かった。

(報告者：松田恵雄)

各グループの詳細なその他の方策案などについては、会誌に掲載予定のワークショップ報告を参照されたい。



Thai Society of Radiological Technologistsおよび Asia Radiation Therapy Symposium 開催される

2019年4月24日(水)から26日(金)までの3日間、バンコクのアンバサダーホテルで第27回タイ王国診療放射線技師学術大会(Thai Society of Radiological Technologists: TSRT)および第7回アジア放射線治療シンポジウム(Asia Radiation Therapy Symposium: ARTS)が開催された。今回の学術大会には、南アジアの国を中心に14カ国、約90人の外国人を含むおよそ500人が参加した。日本からは見玉理事をはじめ16人が参加した。

大会初日は、Opening Ceremonyに引き続き、海外からの招待講演があった。またASEAN諸国を対象としたMedical ImagingとRadiation Therapyのセミナーが開催された。2日目は、第7回アジア放射線治療シンポジウムが開催され、シンポジストの川守田放射線治療分科会長による講演が行われた。来年からタイのチュラロンコン大学でProton Therapyが始まる予定もあり、会場から活発な質疑応答がな



アジア放射線治療シンポジウムの運営会議

された。またImage-guided Radiation Therapy to Adaptive RadiotherapyやArtificial Intelligence in Radiation Oncologyなどの講義も行われた。2日目の夜にはGala Dinnerが開催され、各国の代表者が民族衣装に着替えDinnerに参加するとともに、それぞれ情報交換を行った。最終日は、DosimetryやRadiation Protectionなどの講義も行われた。タイでは診療放射線技師養成大学が毎年開校し、2014年には3校しかなかったが2022年には11校になり、卒業生も毎年500人を超える規模になる見込みである。なお、タイでは専門学校は設置されておらず、診療放射線技師教育は全て四年制大学となっており、ASEAN諸国も同様である。

次回、第8回アジア放射線治療シンポジウムは、2020年10月8日(木)から10日(土)までマレーシアで開催される予定である。会員の皆さまの積極的な参加を期待したい。



川守田放射線治療分科会長によるシンポジウム講演

一般社団法人山口県診療放射線技師会 創立70周年記念式典・祝賀会 開催報告

一般社団法人山口県診療放射線技師会 会長 三輪 光良

一般社団法人山口県診療放射線技師会の創立70周年を記念し、2019年5月18日(土)午後3時30分より、山口市の湯田温泉ユウベルホテル松政(芙蓉の間および長州の間)で記念講演、記念式典、記念祝賀会を挙行了た。

記念講演Ⅰでは、「日本診療放射線技師会の現状と課題」と題して、公益社団法人日本診療放射線技師会会長中澤靖夫先生、記念講演Ⅱでは、「技師教育の実践」京都大学附属病院放射線部技師長 上田克彦先生、記念講演Ⅲでは、「地域活性化“萩しーまーと”の取り組み」道の駅 萩しーまーと 駅長 山口泉先生にご講演いただき、それぞれわれわれの将来をどうすべきかなどを考えさせられる、とても興味深い講演であった。

続いて開催した記念式典では、山口県知事、山口市長、中澤会長にご祝辞を頂いた後、長年、山口県で健康福祉に貢献してこられた山内秀一先生、上田克彦先生、吉永憲正先生、齋藤康博先生、新町浩太郎先生の5人に山口県知事表彰が授与された。

記念祝賀会では、本会の顧問をしていただいている山口大学大学院医学系研究科放射線医学講座教授 伊東克能先生、公益社団法人愛媛県診療放射線技師会会長で中四国協議会代表の茂木大志先生よりご祝辞を頂いた。そ



の後、ご来賓としてお招きした衆議院議員 榎屋敬悟先生、高村正大先生、参議院議員 江島 潔先生、県議会議員 篠崎圭二先生にも温かいご祝辞を頂いた。行政、国会議員、県議会議員、県内医療関係団体、中四国診療放射線技師会会長、関係企業、そして山口県診療放射線技師会会員など100人を超えるご参加を頂き、盛大に記念事業を執り行うことができた。本会は、昭和24年に56人の会員数で始まり、現在507人と成長してきた。歴史を振り返るとさまざまな試練があり、その都度それらを諸先輩方が乗り越え、引き継いでこられた。そのバトンを受けたわれわれは、次に良い形で引き継いでいかなければならない。この節目を迎え、気持ちも新たに会の運営に取り組んでまいりたい。



2019年 春の叙勲受章者 —おめでとうございます—

瑞宝双光章

石田 智広 (福井県)	清永 俊 (宮崎県)	今野英麻呂 (福島県)	齋藤 裕久 (東京都)
柴田 崇行 (北海道)	澁谷 章良 (富山県)	清水 文孝 (埼玉県)	鈴木 弼 (岩手県)
徳田 清茂 (香川県)	福永 逸雄 (福岡県)	森 吉正 (神奈川県)	立花 聖一 (岩手県)
笠原 敏文 (新潟県)	廣木 昭則 (佐賀県)		

瑞宝単光章

早川 俊一 (神奈川県)

(敬称略・順不同、括弧内は所属地区)

INFORMATION

一般社団法人千葉県診療放射線技師会 創立70周年記念式典・祝賀会 開催報告

一般社団法人千葉県診療放射線技師会 会長 千葉 政昭

2019年5月26日(日)、昨年リニューアルオープンしたばかりの千葉駅直結のペリエ千葉7階 ペリエホールで、本会創立70周年記念式典・祝賀会を開催した。

本会は1949年(昭和24年)5月23日に創立。結成当時は十数人だった会員も、今日では800人を超える組織となった。これも歴代会長・役員のためめ努力と、会員ならびに協賛企業の皆さまに一丸となってお協力いただいたたまものといえる。

当日は、定期総会・会員勉強会・市民公開講座・無料骨密度測定を行った後での記念式典となったため、ご協力いただいた実行委員の皆さまには多忙な一日となった。

式典では、本会を築いてくださった歴代会長、そして現体制の基礎をつくってくださった故小原前会長への感謝の思いと、これからの本会が進むべき新しいステージへの決意を会長式辞として述べさせていただき、会長表



彰では、本会発展にご尽力くださった企業会員17社と会員40人に表彰を執り行った。

続いて千葉県健康福祉部 保健医療担当部長 岡田就将さま、千葉県議会議員 佐野 彰さま、公益社団法人日本診療放射線技師会会長 中澤靖夫さまのご来賓3人の方々から、心温まるご祝辞を頂戴した後、特別講演として岡田さまより「千葉県における医療政策～2025年を見据えて～」と題してご講演いただき、千葉県が抱える問題、地域特性に関する医療政策、そしてわれわれ診療放射線技師に期待する医療政策を語っていただいた。

その後の祝賀会では、佐野先生の乾杯の音頭とともに楽しい宴が始まり、オハナハンズのウクレレ演奏では私も前に出て楽しく歌わせていただいた。



また締めのごあいさつを中澤会長より賜り、関係皆様からのご来賓および本会役員など、総勢100人にご出席いただいた記念式典は、余韻を残しつつの終了となった。

今回、70年という佳節の式典・祝賀会を秋本実行委員長の下、各理事・地方会役員のご協力により、確かな次のステージへの架け橋をつなぐことができたと感じている。

関わっていただいた全ての皆さまに、心より感謝を申し上げます。

診療放射線技師のための フレッシューズセミナー 開催報告

栃木県

一般社団法人栃木県診療放射線技師会 理事 木村 友昭

2019年5月26日（日）、獨協医科大学病院 3階会議室で「2019年度フレッシューズセミナー」が開催された。参加者は26人であった。

フレッシューズセミナーは、日本診療放射線技師会と県技師会の共催で、新たに診療放射線技師として勤務する方を対象とした基礎講習である。医療人として必要な基礎知識と技術を身に付け、医療および保健福祉の向上に努めることを目的としている。また本セミナーを通じて日本診療放射線技師会へ入会し、**横のつながり**をつくっていただけたらと思う。

医療安全の講義では、「安全とはリスクが許容できるもの」であり、セーフティマネジメントを病院全体で対策することが重要であると説明があった。また医療安全の基礎およびインシデント報告を紹介していただいた。

エチケット・マナーの講義では、目に見えない「おもてなしの心」「思いやりの心」を見えるようにする方法が礼儀（マナー）であると説明があった。高度な医療技術は患者さんとの信頼関係があってこそ生きるものであり、基本となるのが医療接遇だと教えていただいた。

感染対策の講義では、標準予防策および个人防护具の使い方の説明があった。感染経路別予防策では、参加者が種類の分類を考え用紙に記入していただいた。

入会促進の案内では、日本診療放射線技師会は診療放射線技師だけが加入できる職能団体で、資質の向上を図



るために講習会・セミナー・学会・資格認定などを行っていること、また**交流**を大切にしており、本会は「診療放射線技師の診療放射線技師による診療放射線技師のための組織」であるとのお話を頂いた。

気管支の解剖では、気管支体操と模型作りを行った。模型を作りながら、他施設の参加者と情報交換を行い、和やかな雰囲気の中交流を深め合っているようであった。

本セミナーは、県内フレッシューズの診療放射線技師たちの**初めの出会いの場**であり、今後さらに交流の輪が広がり深まっていくことを願い、本会がその『**交流の場**』となればうれしく思う。

会章（ピンバッジ）販売について

標記につきまして、下記のように本会会員システムよりお申し込みならびに販売をさせていただくことになりましたので、ご案内させていただきます。

- **販売方法**：本会ホームページ <http://www.jart.jp> のJART情報システム(JARTIS)よりマイページへ入っていただき、左上の「JARTISからのお知らせ」をクリックしていただきますと申し込み画面へ移動しますので、そこから申し込みをお願い致します。
- **販売日時**：2019年8月より2020年3月末日まで
- **販売金額**：1個 1,000円（消費税、送料込み）

なお、なくなり次第販売終了となります。



男性用、ネジ式



女性用、ピン式

INFORMATION

INFORMATION

最終回

第35回日本診療放射線技師学術大会

埼玉への道

埼玉県診療放射線技師会
編集情報委員会より



大会に向けて 一統・何も無い、わけではない

「埼玉への道」最終回です。いよいよ第35回日本診療放射線技師学術大会が開催されます。元号が平成から令和に変わり、記念すべき元年の開催地となった埼玉県。ところが、埼玉のイメージは“東京の隣にある県”という印象くらいかもしれません。しかし、この連載で埼玉にもモノや歴史があることを少しでも知っていただけたでしょうか。

ありきたりな言葉ですが、評価や価値観というのは時代により変化します。そしてそれは歴史が証明しています。かつて世界初のCRが登場した際、デジタルの利点を理解しつつも、国内の評価は冷ややかでした。重くて大きなCRTモニター、縮小された四つ切りのフィルム出力やデジタル強調処理など。それらをいきなり臨床現場で受け入れるには抵抗があっても仕方ありません。しかし、海外で評価され、技術も進み瞬く間に広がりました。現在、国内の医療施設では、フィルムレスによる運用がかなりの数を占めるまでに至っています。



観光地として年間700万人が訪れる埼玉県川越市、観光スポットである**本丸御殿**（川越城）は、その時代時代により使用用途が大きく変わりました。江戸幕府が終焉を迎え、明治維新により川越城は解体されます。しかし、大広間など一部は残され、その用途は市役所→たばこ工場→中学校の体育館として使用されました。その後、いまだ現存する御殿があるのは極めてまれであるとして、県の指定文化財になったのはほんの50年ほど前、昭和42年のことです。



本丸御殿、体育館として使用していたときのボール跡

埼玉県で全国大会が開催されることが決まって間もなく、県内の会員でさえ「埼玉か、何も無いよね」という言葉が出ていました。直感的に全国の会員が“行ってみたい”と思えるほど、埼玉に魅力があるかと考えれば、確かに厳しいかもしれません。しかし、実際に訪れていただき、実は“(街もモノも人も)埼玉ってすごいかも”と感じていただければ幸いです。

県内には約1,300人の会員がいます。忙しい業務の中、研究・技術向上など、自己研鑽けんさんに励む素晴らしい会員がここにはいます。開催が決まってからの数年間の、大会成功に向けたわれわれスタッフの準備・運営・ポテンシャルの高さに、“何も無い”と思われた埼玉が、いずれ評価されるかもしれません。

かつて片田舎であった武蔵国（埼玉・東京・神奈川の北部）の地が、江戸の時代から日本の中心になると知ったら、大昔の人々は驚かれるでしょう。そして古代武蔵国の中心が埼玉であったことに、現代の方々は驚かれるでしょう。今、この時の評価・価値観というのはとても大切です。それと同時にその価値観というものはおそらくと変わっていくものです。



新しい元号の下、埼玉大会が開催されます。過去・現在を知り、彩の国で医療の未来を感じていただける大会になればと思います。

スタッフ一同、心から皆さまのお越しをお待ちしております。



第35回 The 35th
Japan Conference of Radiological Technologists(JCRT)

日本診療放射線技師学術大会

国民と共にチーム医療を推進しよう

Let's promote team medical care with the nation

彩の国から未来へ

From Sainokuni to the future

会期
Date

2019年9月14日(土)~16日(月・祝)
September 14(Sat) -16(Mon) , 2019

会場
Venue

大宮ソニックシティ
Omiya Sonic City

会長
President

中澤 靖夫 (公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)
Yasuo Nakazawa (Japan Association of Radiological Technologists)

大会長
Chairman

田中 宏 (公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会 会長)
Hiroshi Tanaka (Saitama Association of Radiological Technologists)

主催
Host

公益社団法人日本診療放射線技師会
Japan Association of Radiological Technologists

共催
Cosponsor

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
Saitama Association of Radiological Technologists

後援
Support

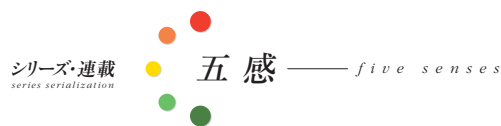
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare
埼玉県
Saitama Prefecture
さいたま市
Saitama City
さいたま市教育委員会
Saitama City Board of Education

大会事務局
Secretary Office

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番3号
TEL:048-664-2728 対応時間平日(月~金曜日) 9:00~15:00
Saitama Association of Radiological Technologists Saitama Prefecture Saitama City Kitaku Miyaharacho 2-51-39
Phone:+81-48-664-2728 Correspondence time Weekday (Monday - Friday) 9:00~15:00



座右の銘



「座右の銘は何ですか？」とは、著名人のインタビューなどでよく聞かれる質問ですが、ご存じの通り座右の銘とは、常にその人の心にとどめておき、自分の励ましや戒めとする言葉のことを言います。本来は他人に伝えるものではないのですが、他の人の座右の銘も気になりませんか？

少し調べたところ、あるサイトに座右の銘に関するランキングを見つけました。「座右の銘にしたいことわざ」の1位は「継続は力なり」。「何事も休まずに長く続けていけば自分の力になり、途中で諦めたり止めたりせずコツコツ努力することが大事」という、よく耳にする言葉です。また四字熟語ランキングでは、「戒驕戒躁（かいきょうかいそう）」が1位でしたが、恥ずかしながら私はこの言葉を知りませんでした。意味は“^{おこ}驕らず焦らず騒がず、慎んで静かに堅実にやりなさい”ということだそうです。さらに「座右の銘にしたい名言」の1位は高橋 歩さんの“夢は逃げない。逃げるのはいつも自分だ。”となっていますが、こちらは説明不要でしょう。このようにいろいろなサイ

トにランキングや一覧があるので、座右の銘がないという方もある方も、一度検索してみるのも面白いと思います。

さて、来年度から医療放射線安全管理体制の構築が義務付けられ、診療放射線技師が安全管理責任者となることが可能となりました。診療放射線技師が安全管理責任者になることは、職能として当然担うべき業務であるとともに、われわれの将来に向けても大変重要な意味を持っており、より多くの全国の施設で安全管理責任者として活動できる状況をつくらなくてはなりません。そのためには施設内で声を掛けられることを待つのではなく、自ら積極的に施設（事務方や経営陣）に働き掛け、そのポジションに就くため行動することが肝要となってきます。誰かがわれわれのために行動してくれるという都合の良い話はないのです。われわれが行動しなくては何も変わりません。診療放射線技師の未来のために、まずは行動しましょう！

最後の記述で、何となく私の座右の銘がバレたでしょうか。

（文責：北海道地域理事 富田伸生）

第35回日本診療放射線技師学術大会についてのお知らせ

INFORMATION

第35回日本診療放射線技師学術大会の演題募集につきましては448演題の応募を頂きました。多数の応募を頂き心より感謝申し上げます。

本大会では座長を2人体制とさせていただきます。近年、他学会でも演者フォローのため座長2人体制を取っており、本大会でもこれを採用し学術大会を盛り上げていこうと思います。また日本診療放射線技師会企画の賞に加え、最優秀演題賞などの埼玉大会における賞をたくさん企画しております。演題登録された会員の皆さま方におかれましては、ぜひ楽しみにしててください。

多数の診療放射線技師の皆さまのご参加をお待ちしています。

（第35回日本診療放射線技師学術大会 大会長 田中 宏）

本会への入会手続きについて（お知らせ）

INFORMATION

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- ❶ 本会ホームページ（<http://www.jart.jp>）から“新規入会はこちらから”をクリック
- ❷ 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL：03-5405-3612 E-mail：info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

診療放射線技師のための フレッシューズセミナーのお知らせ

INFORMATION

プログラムは、エチケットマナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎（都道府県により違いあり）など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

■フレッシューズセミナー開催予定：

岐 阜	7月 6日(土)	シティホテル美濃加茂
兵 庫	7月 6日(土)	宮野医療器株式会社 大倉山別館 6階ホール
宮 崎	7月 6日(土)	宮崎市郡医師会病院 看護研修棟
長 野	7月 6日(土)～7日(日)	西条温泉とくら
富 山	7月 7日(日)	富山大学附属病院 多目的研修室
京 都	7月 7日(日)	ホテルセントノーム京都
山 口	7月 7日(日)	パルトピアやまぐち 第1会議室
長 崎	7月 7日(日)	JCHO 諫早総合病院 東棟 2階会議室
福 井	7月13日(土)	福井県立病院 5階大会議室
大 分	7月20日(土)	大分記念病院 多目的ホール
石 川	7月21日(日)	石川県済生会金沢病院 2階討議室
三 重	7月21日(日)	鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパス B講義棟1階 3513教室

7月・8月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

■ 医療画像情報精度管理士セミナー①：	東 京	7月20日(土)	
■ 放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会：	岡 山	7月27日(土)	
■ 骨関節撮影分科会セミナー：	東 京	8月11日(日・祝)	
■ 「看護学」(実習)講習会：	秋 田	8月17日(土)	
■ 「救急医療学」(実習)講習会：	秋 田	8月18日(日)	
■ 日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会 合同公開市民講座：	岡 山	8月24日(土)	
■ 放射線治療分科会生涯教育セミナー：	宮 崎	8月24日(土)	
■ 国際認定試験：	東 京	8月25日(日)	
■ 認定資格試験：	東 京	8月25日(日)	大 阪 8月25日(日)
■ 医療画像情報精度管理士セミナー②：	兵 庫	8月31日(土)	

ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000004api.html

JART求人広告掲載について

INFORMATION

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ（各種様式→その他）よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。